

(公財) 日本体操協会

令和元年度第3回(12月)理事会議事録

1. 日 時 令和元年12月21日(土) 15時00分～17時15分

2. 場 所 Japan Sport Olympic Square 3階 第2会議室

3. 出席者 <理事>

二木英徳(会長)、具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、長谷川洋子(副会長)、
荒木達雄(副会長)、山本宜史(専務理事)、遠藤幸一(常務理事)、
水鳥寿思(常務理事)、田中光(常務理事)、山崎浩子(常務理事)、
竹村英明(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、岩瀬史子(常務理事)、加納実(理事)、
萩原智子(理事)、加藤裕之(理事)、川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、
田坂利明(理事)、村木啓造(理事)

20名

<監事>

高橋史安(監事)、竹田幸夫(監事)

2名

<関係者>

石崎朔子(コンプライアンス委員長)、丸山章子(トランポリン女子強化本部長)、
渡邊榮(事務局長)、守永直人(事務局)、

4名

欠 席

米田功(常務理事)

1名

4. 資料の確認

審議事項

- 審議事項1 女子体操強化/2020東京五輪日本代表選考方法<チーム枠4名の選出>
- 審議事項2 女子体操強化/2020東京五輪日本代表選考方法 <個人枠選手の選出>
- 審議事項3 女子体操強化/アジア選手権代表メンバー
- 審議事項4 国際委員会/国際・FIG対応プロジェクトチーム設置について
- 審議事項5 総務委員会/令和元年度 協会三賞表彰候補者の件
- 審議事項6 一般体操委員会/「(公財)日本体操協会公認 高齢者体操指導員」新資格制度について
- 審議事項7 懲戒委員会/特殊詐欺グループ詐欺事件による逮捕者に対する処分決定について

報告事項

- 報告事項1 女子体操強化/女子ナショナルチームトレーナー規約

報告事項 2 女子体操強化／WC 種目別コト布斯大会報告
報告事項 3 女子体操強化／2019 豊田国際体操競技大会報告
報告事項 4 トランポリン強化／第 34 回世界トランポリン競技選手権大会 報告
報告事項 5 トランポリン強化／第 27 回世界年齢別トランポリン競技大会 報告
報告事項 6 総務委員会／表彰規程改定について
報告事項 7 総務委員会／2019 年優秀選手・指導者
報告事項 8 審判委員会／全国ブロック選抜 U-12 体操競技選手権大会女子審判員の増員について
報告事項 9 審判委員会／第 73 回全日本団体選手権大会 女子採点検証
報告事項 10 広報委員会／世界トランポリン観客動員数報告
報告事項 11 パルクール委員会／第 1 回パルクール日本選手権

5. 二木会長ご挨拶

トランポリン世界選手権を有明体操競技場で開催したこと。その大会で男女ともオリンピック出場権を獲得し、金 4 つを含むメダル 5 個を獲得できたこと。運営面でも課題を見つけ、本番に備えることを伝え挨拶とした。

6. 議長選出

定款 38 条の定めにより、議長は、二木英徳会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

出席 20 名で定款 39 条の定足数に達している。

8. 議事録署名人

規程に従い 二木英徳会長、竹内輝明副会長及び、高橋史安監事、竹田幸夫監事が指名され、議場に諮り、全員異議なく承認された。

9. 議事

審議事項 1 2020 東京五輪日本代表選考方法＜チーム枠 4 名の選出＞

議長の指名により、田中光 女子体操強化本部長は下記の説明を行った。

チーム 4 名の選出方法を説明する。

① W 杯個人総合で国枠を獲得した場合、ポイントが高い選手 1 名を決定。

② 個人総合合計得点から 3 名（①を含む）を決定する。

全日本個人総合(予選・決勝)+NHK 杯個人総合合計得点で上位 3 選手を決定。

③ 個人総合とチーム貢献得点にて 1 名を決定する。

④ 補欠の選出は、②③の代表決定選手を除く②の次点者 2 名を国内補欠とする。

質疑応答の後、審議事項 1 は、1 月の常務理事会で「再提案」とすることが全会一致で可決した。

審議事項 2 2020 東京五輪日本代表選考方法 ＜個人枠選手の選出＞

議長の指名により、田中光 女子体操強化本部長は下記の説明を行った。

①W 杯種目別で個人枠を獲得した場合、個人枠選手として 1 名を決定。

②W 杯個人総合・アジア選手権において国枠を獲得した場合、全日本個人総合(予選・決勝)、NHK 杯、全日本種目別(予選・決勝)の国内の予選 5 大会において、上位 2 大会の平均得点が基準点を超える選手を決定する。

基準点は、2019 世界選手権種目別予選 3 位点数とする。

個人総合成績を選考理由に入れている理由は、個人枠からしか五輪で入れ替えができないため、個人総合が高い選手を優先することをタイブレイクに入れている。

質疑応答の後、審議事項 2 は 1 月の常務理事会に「再提案」とすることが全会一致で可決した。

審議事項 3 アジア選手権代表メンバー

議長の指名により、田中光 女子体操強化本部長は下記の説明を行った。

2019 世界選手権出場選手を除く、全日本個人総合で 5 名+補欠 1 名としたい。

アジア選手権の個人総合の点数は、NHK 杯に差し替えることができることとする。

質疑応答の後、審議事項 3 は、1 月の常務理事会に「再提案」とすることが全会一致で可決した。

審議事項 4 国際・FIG 対応プロジェクトチーム設置について

議長の指名により、竹内輝明国際委員長は下記の説明を行った。

2019 年度より国際委員会は新たに活動を始めた。FIG 派遣役員が個々に活動していたが、まとまってチームとして委員会の枠を超えて活動をしたい。2020 五輪ではテクニカル役員との情報交換、五輪後には FIG 総会で役員選挙が行われる。また、2024 まで放映権をテレビ朝日が持っているが以降どう交渉するのか検討も必要。世界体操選手権の誘致等準備態勢を構築したい。顧問を二木会長、リーダーに竹内副会長。設置が認められればメンバーを決めていきたい。

特に、意見もなく、審議事項 4 は、原案通り、承認・可決された。

審議事項 5 令和元年度 協会三賞表彰候補者の件

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の説明を行った。

11 月 29 日締め切りで推薦をもらった。平沼賞該当者なし、功労賞 23 名、栄光賞 6 名としたい。

特に、意見もなく、審議事項 5 は、原案通り、承認・可決された。

審議事項 6 「(公財)日本体操協会公認 高齢者体操指導員」新資格制度について ①

議長の指名により、荒木達雄一般体操委員長は下記の説明を行った。

いろいろな高齢者施設で体操をしているが、ヘルパーが体操指導をしている。

施設の方からちゃんとしたものが欲しいと声もあり、資格制度を新設してカリキュラムを作ることにした。

質疑応答の後、審議事項 6 は、原案通り、承認・可決された。

審議事項 7 特殊詐欺グループ詐欺事件による逮捕者に対する処分決定について
議長の指名により、懲戒委員である山本宜史専務理事は下記の説明を行った。

特殊詐欺グループに協力した笹本氏の裁判所判決が出た。懲役 3 年、執行猶予 4 年。登録抹消としたい。

質疑応答の後、審議事項 7 は、原案通り、承認・可決された。

報告事項 1 女子ナショナルチームトレーナー規約

議長の指名により、田中光 女子体操強化本部長は下記の説明を行った。

女子のトレーナーの人数が増えている。女子選手はいろいろな問題が考えられるので規約を作った方がよいと思っている。現状、今回報告する規約をもって、トレーナーにサインしてもらっている。

加藤理事 国家資格等の公認資格とはどこまでの範囲を指すのか。

田中本部長 国家資格を想定している。その他どこまで含むのか詳細を検討する。

二木会長 女子体操だけの事では無いので、協会としてまとめた方がよい。専務預かりとして整理してほしい。

山本専務 承知。協会として整理する。

報告事項 2 WC 種目別コト布斯大会報告

議長の指名により、田中光 女子体操強化本部長より大会結果が報告された。

報告事項 3 2019 豊田国際体操競技大会報告

議長の指名により、田中光 女子体操強化本部長より大会結果が報告された。

報告事項 4 第 34 回世界トランポリン競技選手権大会 報告

議長の指名により、丸山章子トランポリン女子強化本部長より大会結果が報告された。

地元開催とのことでまずは御礼申し上げる。男女とも五輪出場枠を獲得、メダルも 5 つ獲得できた。2013 年からトランポリン強化に関わらせてもらい、団体最下位からの出発だったが、今回の結果を残すことが出来て感謝している。実力では中国が上。五輪ではマークされる立場となり余計に緊張している。

今後は、W 杯で 2 枠目獲得を目指し、五輪でメダル獲得を目指す。

報告事項 5 第 27 回世界年齢別トランポリン競技大会 報告

議長の指名により、丸山章子トランポリン女子強化本部長より大会結果が報告された。

世界選手権の後に開催されたジュニアの大会。金メダル3つ、銀メダル3つ、銅メダル4つ、入賞15を果たしたが、中国、ロシアの実力には及ばない。さらに上を目指したい。

後藤理事 選手にインフルの患者が出た。他競技ではインフルの予防接種は？
山崎理事 新体操は個別に任せている。予防接種で体調崩す場合もあり強制は難しい。
水鳥理事 男子体操も個人に任せている。
二木会長 個人責任に任せるしかないのでは。

報告事項 6 表彰規程改定について

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の報告を行った。

旧組織の名前であったため、常務理事会にて削除・変更改定を行った。

報告事項 7 2019 年優秀選手・指導者

議長の指名により、遠藤幸一総務委員長は下記の報告を行った。

今年は、最優秀選手7名、優秀賞12名＋新人3名、優秀指導者賞14名が決まった。
表彰式は翌年1月18日に都内ホテルにて開催する。

報告事項 8 全国ブロック選抜 U-12 体操競技選手権大会女子審判員の増員について

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の報告を行った。

全国出場権のかかる試合にしては審判の人数が少ない。
多少の弊害も見られるため増やした。編成は資料のとおり。

報告事項 9 第 73 回全日本団体選手権大会 女子採点検証

議長の指名により、後藤洋一審判委員長は下記の報告を行った。

D スコアに対する質問が10件あった。変更は1件。
帯同審判制度を設けている。多少のばらつきはあったが、検証の結果問題なしとした。

水鳥理事 検証の内容は
後藤委員長 審判本部で E スコアの検証を行っている。
村木理事 何をもって検証なのか
後藤委員長 映像で検証する。

報告事項 10 世界トランポリン観客動員数報告

議長の指名により、岩瀬史子広報委員長は下記の説明を行った。

3300 席が Max の座席数で最終日は完売。メディアも海外からも取材に来ていた。
プロモーション内容を映像で報告。駅構内ポスター、ネット映像などの PR を行った。

報告事項 11 第 1 回パルクール日本選手権

議長の指名により、山本宜史専務理事は下記の報告を行った。

11月2,3日淡路島で開催した。世界選手権の選考会。パソナの大運動会の中で開催した。男子56名、女子5名の参加者。
世界選手権の代表者、来場者数は資料のとおり。

その他

以下のとおり報告があった。

山崎理事 フェアリージャパンPOLAの追加メンバーについて、内定していた選手の試用期間を経て、確定とした。

山本専務 ガバナンスコードに関する説明会があった。来年度以降、対応が必要。プロジェクトチームを作りたい。地方にも広めないといけない。

パワハラ・セクハラ相談窓口は軽微なものも含めると、現在さばけない程の通報が届いている。各都道府県でも対応できるように取り組んでいけたらと思う。

石崎委員長 着任後、半年ほどコンプライアンス委員会の活動を行った。今回議案に出た懲罰案件もコンプライアンス委員会で検討し、懲戒委員会を設置して報告している。山本専務の説明のとおり非常に数多く通報が寄せられている。意見聴取でさえ1回4,5時間かかり作業的にも大変負担を要する。体制を整えて全国で対応していくようにしないといけない。2月の全国代表者連絡会で講習会を開く。

議長は、すべての議案の終了を確認し、17時15分に閉会を宣言した。

令和元年12月21日

議長 二木英徳

議事録署名人 竹内輝明

議事録署名人 高橋史安

議事録署名人 竹田幸夫